

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市宮城社会福祉センター
2	指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <p>平成30年度 32,737人（前年度比 104%） 平成29年度 31,308人（前年度比 94%） 平成28年度 33,305人（前年度比 75%）</p> <p>《事業》地域福祉活動の推進を図ることを目的に、地域住民や社会福祉団体の活動拠点として、活動の場を提供するとともに、登録団体の自主的な運営を支援した。また登録団体、近隣施設、地域団体と連携した各種講座・行事の開催を通じて地域住民の福祉意識の向上を図った。</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 15,107千円 （ 19,453千円） ・ その他市が負担した費用 1,836千円 （ 337千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 （ 0千円） ・ その他収入 47千円 （ 58千円）
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者アンケート（団体・個人）10月2日～10月31日 ・ 運営委員会 2回 9月11日、2月19日 ・ 利用状況報告書による意見聴取 通年

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>施設の設置目的に基づいた管理運営上の「基本方針」を確立し、施設の管理運営及び自主事業などを通して、当該目的が達成できており、評価できる。また、「基本方針」を館内出入口に掲示し利用者に周知するとともに、職員に対しては、毎朝のミーティングにおいて基本方針の理解促進を図りながら施設の管理運営にあたっており、評価できる。</p> <p>特に、障害者、高齢者及び子育て世帯の交流・支援に関する講座の企画に加え、町内会や子供会と協力し、地域交流会や七夕等の季節行事を開催するなど、積極的に地域との連携が図られており、評価できる。</p>	39/39
II 施設の運営管理体制	<p>指定管理協定書及び仕様書、その他関係法令を順守し、適正な施設管理がなされている。事故防止対策については、日々、定期巡回を複数回実施し、その結果を職員同士で情報共有している。万一、事故が起こった場合には、事故が発生した状況・その後の対応・今後の備えについて記録し、職員間に周知している。また、災害発生時の対応については、防災関係機関の連絡先を執務室内に張り出し、緊急時には速やかに連絡可能な体制を構築しているほか、消防機関と連携し、施設利用者も参加のうえ、年に2回防災訓練を行っている。さらに、個人情報の保護に関しても、研修等を行うほか、退庁時のクリアデスク等を徹底しており、評価できる。</p>	24/24
III 施設・設備の維持管理	<p>築30年を超える建物であるが、日々の定期巡回で設備に不具合等を発見した場合は、適切に修繕を行っており、施設の維持管理が適切に行われている。また、新・仙台市環境行動計画に基づき、省エネやごみの持ち帰りを呼び掛け、環境に配慮した施設運営を行っており、評価できる。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>地域性を生かした親しみやすい施設の運営を行っており、評価できる。利用者及び地域住民向けにチラシや広報誌を作成し、掲示板等でイベントの開催について案内するほか、広報誌の配付先を拡大し、地域包括支援センターへ配付するなど、利用促進のための取り組みを行っている。また、施設運営に関する管理運営委員会の開催や、個人利用者及び登録団体へのアンケートを実施し、講座内容へ反映するなど、施設のサービス向上を確保するための取り組みがなされており、高く評価できる。</p>	28/28

V	施設固有の基準	施設近隣の住民や団体とのかかわりが深く、地域に密着した施設となっている。年間を通して利用者の多い入浴施設については、毎日の塩素濃度測定や外部委託による定期的な検査等により衛生基準を満たしているとともに、新・仙台市環境行動計画に基づき節水等に努めており、評価できる。施設の運営については、より幅広く利用いただけるよう、障害者と交流しながら親子で参加できる手話教室の開催や、高齢者向け健康づくり講座の修了者による自主グループの立ち上げ支援など、高齢者のみならず、さまざまな福祉分野についての理解を深める企画が行われている。また、利用登録団体と連携した障害者理解に関する講座の開催など、新たな事業に係る取り組みも高く評価できる。	15/15
---	---------	---	-------

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加要素)

評価すべき取組み	取組み状況
1	
2	
3	
加評価	
—	

四 評価総括

《指定管理者（宮城社会福祉センター）による自己評価》
<p>(1) 地域福祉の拠点としての活動 センター登録団体の活動や広報等の相談に応じ、自主的な活動がスムーズに行うことができるように支援した。また運営委員会や利用者アンケートにより利用者のニーズを的確に把握し、センター運営に反映させた。</p> <p>(2) 地域住民の福祉意識の高揚と増進 センター登録団体やボランティアの協力を得て地域福祉講座、健康づくり講座、おたがいさまの子育てサロン等を開催し、市民の福祉意識の向上を図った。また親子手話教室やボランティア講座を開催し、ボランティアの発掘育成に努めた。さらに登録団体の協力を得て、地域交流会、季節の行事、芸能祭等を開催し、地域交流の場としての役割を果たした。</p> <p>(3) 地域福祉団体との連携 地域の福祉団体との情報交換を密に行い、子育て支援や高齢者に関する福祉情報等を利用者に提供することができた。またセンターの利用団体の活動情報をセンターだより等に掲載し、広くPRするとともに、登録団体相互の活動について理解を深めることができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>地域の特性に対応した地域密着型の施設運営を行っており、独自性のある施設となっている。利用者や職員の関係も、親しみを持って接している様子が見え、主催講座である「子育てサロン」(年9回開催)は盛況で、多くの乳幼児親子が参加している。また、併設する仙台市社会福祉協議会青葉区宮城支部事務所と連携して幅広く地域ニーズを把握し、立地条件等を活かしながら事業を展開している。具体的な取り組みとしては、さまざまな地域団体等が主催・共催する「宮城地区まつり」への参加や地域福祉講座等の開催、西仙台病院地域連携室と共同開催の公開講座および無料健康相談事業の実施、町内会や子供会と協力し、地域交流会や七夕等の季節行事を開催するなど、地域住民の交流拠点として施設を運営している。また、利用登録団体と連携した障害者理解に関する講座の実施や、アンケート結果を基に講座内容を見直すなど、利用者のニーズを寄り添った運営を行っている。さらに、広報誌の配付先を拡大し、地域包括支援センターへ配付するなど、利用促進に取り組んでおり、評価できる。</p> <p>なお、年間を通して利用者の多い入浴施設については、浴場の衛生基準を満たしているとともに、新・仙台市環境行動計画に基づき節水等に取り組んでいる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局地域福祉部社会課